

## 青梅市健康増進計画推進会議（第3回）

### 会議要録

- 【開催日時】 平成26年6月27日（金） 午後1時30分～  
【開催場所】 健康センター 2階研修室  
【出席】 委員：8名、事務局：8名、コンサル：2名、欠席者：2名  
【傍聴者数】 1名

#### 【配付資料】

- 1 健康と食に関する市民意識調査集計表（資料1-1）
- 2 市民意識調査結果のポイント（資料1-2）
- 3 新計画書構成（案）（資料2-1）
- 4 計画の基本的事項（資料2-2）
- 5 青梅市健康増進計画策定スケジュール（案）（資料3）
- 6 参考資料 青梅市健康増進計画推進会議委員名簿（資料4）
- 7 参考資料 東京都健康推進プラン21（第二次概要）（資料5）

#### 【議事】

- 1 開会（健康課長による司会進行）
- 2 あいさつ 健康福祉部長による挨拶が行われた。
- 3 委嘱状の交付 福祉部長が、新しく委員になった方に委嘱状を手渡し交付した。
- 4 委員自己紹介 委員はじめ出席者全員が、所属と氏名等を自己紹介した。
- 5 議題

##### （1） 市民意識調査の結果および今後の課題について（資料1）

○事務局が資料1の説明を行った。

資料1-2「市民意識調査結果ポイント」の「事務局の着眼ポイント」について委員から以下のような質問があった。

- ・委員より、回収率に関する質問があった。

これに対し、事務局より37.6%との回答があった。

コンサルからは、配布数2,000に対して有効回収数が752票、完全無効票が0票、有効回収率36.7%であること、5年前のアンケート調査においては、配布数2,000に対して892、有効回収率は44.6%であったこと、以前は回収率4割が標準的であったが、最近では4割をキープするのが難しい状態であり、統計的には有効回収数が500あれば信頼性に足ると言われているので、今回の回収

率は決して低いものではなく信頼性もある、との補足がなされた。

—資料1-2「市民意識調査結果ポイント」の「事務局の着眼ポイント」について委員から以下のような質問があった。—

- ・委員より、問14の「合計63.5%」はどれを足しているのか、との質問があった。  
これに対し、コンサルから、問14には「ストレスがあるか」という問の枝問として「ある場合、それをどのように解決しているか」という問があり、担当課では、好ましくない解決法の合計値が高いということを問題視している、との説明があった。
- ・委員より、問19の「高いのか」とはどのような意味か。歯科は前回と比べて割合は高いのか、との質問があった。  
これに対し、事務局から、歯科のかかりつけについては今回初めて設問を設けた。医科については、前は53.6%であった。12ポイント以上差がみられる、との説明があった。
- ・委員より、「問21~23」の事項について、歯に対して意識の低い人へのブラッシング指導は難しい、とのご意見があった。  
これに対し、事務局は、先生方とご相談しより良い取り組みを行いたいと回答した。
- ・委員より、問1や問2、4では、属性ごとの健康への関心について書かれており、回答率が健康への関心度ということになっているが、「忙しくて回答できない」という人が多いと感じており、アンケートの数値については考慮しなければいけないのではないかと指摘があった。  
これに対し、事務局は、検討して次回には改善点をお示しできるようにしたい、と回答した。
- ・委員より、「問7~8」については、健康診断と共に「プライマリーヘルス（第一次予防）を実践しているかどうか」、という事項も加えた方が良いと思う、との指摘があった。  
これに対し、事務局は、食育の計画でそれについてはカバーしているが、まるっきりそちらの方に載せるのではなくこちらの計画でも触れたい、と回答した。  
事務局より、骨子の中でも食については触れている項目がある、との補足がなされた。
- ・委員より、問8-2については、健診を受診している人が少ない理由として、一つには申込期間が短い、実施している健診がわかりづらいということが挙げられると思う、との指摘と、昨日の時点でHPの内容がまだ平成25年度だったので早く更新してほしいとの要望があった。

また、問 10 については、家庭でもできる運動を周知させる機会が必要との指摘があった。

- ・副委員長より、がんリスク健診も周知させたい、との意見があった。
- ・委員より、自営業の方や主婦の方への周知が課題であると思う、との意見があった。
- ・委員より、健診を受けている人の割合は東京都の平均と比べて高いし、自分が健康だと思っている人が 7 割もいるので、そこはもっとアピールしても良いのでは、との意見があった。
- ・委員長より、回収率 4 割なので偏ったデータではあるが、貴重なデータでもあるので、健康計画策定へと結びつけてもらいたい、との意見があった。

## (2) 第 3 次健康増進計画の骨子等について (資料 2)

○事務局が資料 2 の説明を行った。

- ・委員より、骨子を変更せずに中身を検討してほしいとのことであるが、アルコールに関する法律や睡眠に関する指針が新たに設けられているので、このような新しい法律などと計画を関連させてほしい、との要望があった。

これに対し、事務局から「現状と課題」の部分で現行の法律を書き込んで対応したい、また、分析の中では第一次と第二次の計画がどのように第三次の計画へとつながっていくのかを検討すべきであるので、構成については第二次の計画を継承する形をとっている、と回答した。

- ・委員より、喫煙の怖さもっと訴えてほしいとの要望があった。
- ・委員より、心のケアに関する項目が計画に入っているのは良いと思った、との意見があった。
- ・副委員長より、青梅の喫煙率の他市との比較について質問があった。

併せて、委員長からは、男女別年齢別で喫煙率は比較すべきだとの意見があった。

これに対して、コンサルより、前回の計画において男性 30 歳代の喫煙率の数値目標は 35.7%であったが、今回は 12.2 ポイント減少の 23.5%、50 歳代では、ベースラインすなわち出発点が 40.5%であったが、今回は 18.2%なので、統計的には非常に改善が進んでいるとみることができるということ、女性においても 18~29 歳では 13.7%が出発点であったが、今回は 4.3%であり 9.4 ポイント改善したとみることができ、精査はするが速報値でいえば全て改善しているという結果になる、と回答した。

- ・副委員長より、飲酒と喫煙の相関についてクロス集計を見たいとの要望があった。

(3) 今後のスケジュールについて (資料3)

○事務局が資料3の説明を行った。

(4) その他

○委員長が委員からの質疑を促したが、質問はなかった。

6 その他

今後の日程 第4回 9月12日(金) 時間は後日連絡

7 閉会